

# シリーズ

## 家庭看護のコツ

### 最終回

老いは順番。あなたにだって確実に老いはやって来ます。

子供にとっても、お年寄りを介護することは、いたわりの心や命の大切さを知るよい機会です。

介護を、家族みんなの学習の場にしませんか。

相談は……  
保健婦人センター ☎64-8992



●入浴は子供の手を借りて

桜が咲けば花見。花見につきものは、お酒。大勢でワイワイ飲むお酒も楽しいけれど、ひとりしみじみ飲むお酒も、またおつなもの。しゃれた、お酒の道具を紹介しましょう。

## 個性派の道具たち

22

羽柴久光さん (比奈)



このお酒の道具は、比奈の羽柴久光さんが、家の中を整理して見つけました。外側は、木でできていて、縦が十五センチ、横が十八センチ、高さは十センチの小さな箱です。これに、取っ手がついています。ふたをあけると、しんちゅうでつくられた道具の数々。

## かん 燗をつける道具

これは、屋外でお酒を飲むときの、かんをつける道具だそうです。おき"を入れるところがあって、おき"でお湯を沸かします。お酒を入れる筒には、萩の模様の彫金。現代ではちよつと見られない、しゃれたものです。

それもそのはず、これは今から百八十年くらい前の、町人文化が栄えた「文化文政時代」のものではないかと考えられるからです。羽柴さんも、やかた船の中で使っている「にしき絵」を見たと言うお話でした。

お酒は好きだけれど、そんなにたくさんは飲めない風流な人が、長い旅の慰みに携帯したのでしょうか。あるいは、桜をめでながら、ひとりしみじみ飲んだものかもしれません。ちなみに、羽柴さんは「俳かい史研究会」の会員。風流なご先祖様がいて、ちつともおかしくない雰囲気をお持ちでした。\*この道具の呼び名を知りませんか。

### あなたの生活便利メモ 22

## あなたの手で もっと街に緑を



大沼幹雄さん  
内線二六六七

露地のチュウリップやアネモネが咲き始めるころ。また、四月から五月にかけては、新緑の美しい季節。花や緑は、私たちの心に安らぎを与えてくれます。

この大切な緑をもっと街にふやしましょうと、みどりの課の大沼幹雄さんが呼びかけます。

「緑をふやすことは、そんなに

難しいことではないと思います。気候のよいこの時期に、ちよつと花の種をまいたり、入学や結婚、そして、赤ちゃんが生まれたのを記念して木を植えることなど。私たちにできる、手軽なことから始めてみませんか。

草花や木を育てていて困ったら、地区の緑化指導員にお尋ねください。もちろん、みどりの課へもお気軽にどうぞ。このほかにも、生け垣づくりの補助金制度もあります。ご利用ください」



### こちら編集室

斬新なレイアウト。文章は丁寧で、かつ明瞭。知りたい情報ばかりだから、読み出したら、やめられないとまらない。そして、読んだ後の大きな満足感。そうです。これは、広報ふじの

ことなんです。「だれです！そこで笑っているのは」。いよいよ新年度がスタート。編集室も、新しいスタッフが新しい紙面づくりに挑戦。皆さん、請う、ご期待……ですぞ。

### 遊々タイム 21 【海外旅行】

柚木の鳥居さだ子さんは、旺盛な好奇心の持ち主。日ごろは一生懸命に仕事をして、楽しみは旅行。既に、海外旅行も何度か。

中でも一番印象深いのはエジプト。アスワンダムをつくった人間の力の大きさに感心したり、ゆでたそら豆だけの食事にびっくりしたり、ピラミッドの中を、てっぺんまで歩いたことなど。「日本にないところが見られるから、楽しくて。

体が続く限り行きたい。春になると、ムズムズしてくるんですよ。旅に出たくて」。鳥居さんの、明るく生き生きした話し方は、きっと旅行の効果なんでしょう。

